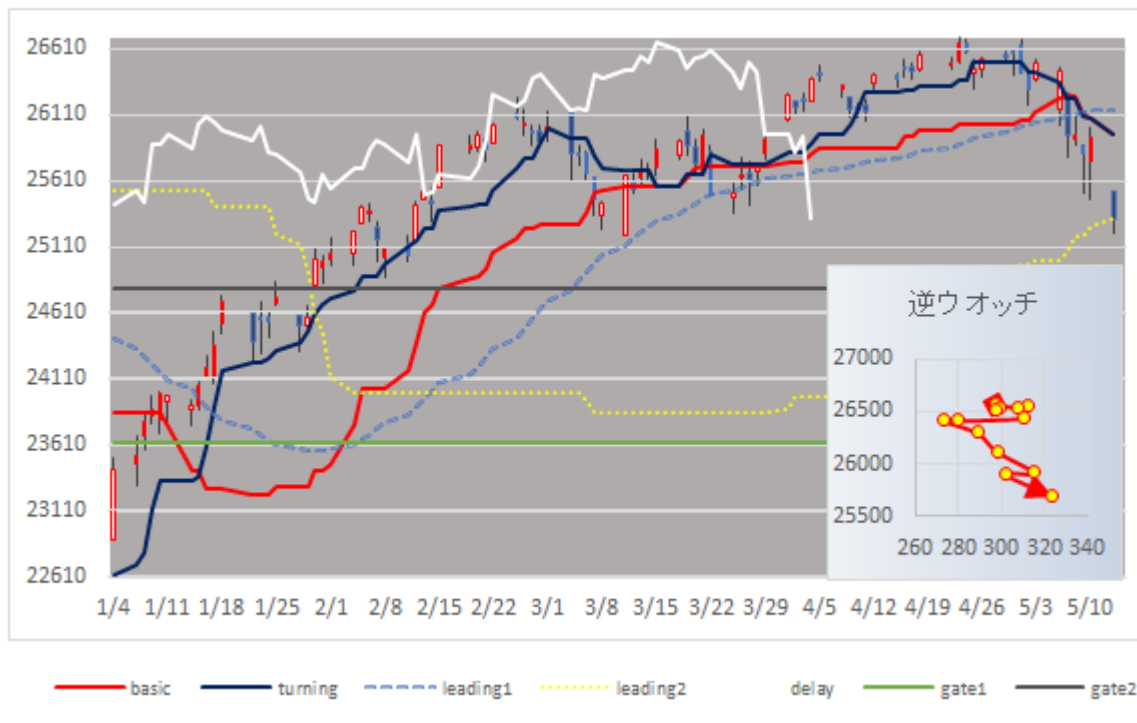


泥沼化の米中貿易戦争下の資産保全法



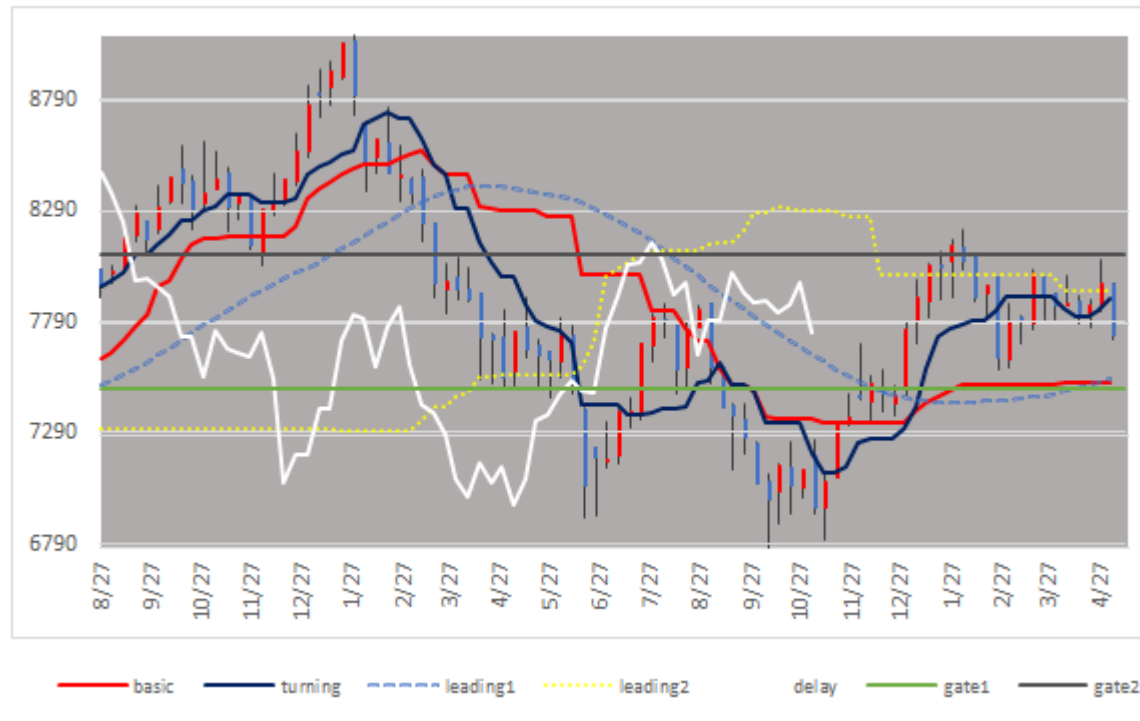
米中の貿易協議が報復合戦の様相を呈してきた。上図は中国が報復関税の実施を発表した5/13を含めたNYダウ30の動き。窓を空けての下放れで、極めて強い売り相場の状況となっている。14日は、これを受け、世界株式市場は大混乱に陥るのは確実だろう。フィリピン市場も当然、その余波を受ける。

この状況下で、資産をどう守るのかを緊急レポートした。(Nishina)

フィリピン市場のリスクは23%↓

●フィリピン経済は内需中心のGDPであり、ASIANのなかで米中貿易戦争の影響を最も受けにくい国といわれている。米中2大経済大国が実りない報復を続ければ、GDPの下方修正を余儀なくされるだろうが、トップクラスのGDP成長を維持するはず。その結果、消去法で再び、フィリピンの成長率に注目が集まることになり、今回のショック安からも他国より早く回復に転じる見通した。13日の国政選挙で上院で与党が圧勝したことも市場にとってプラスとなろう。

- こうしたことから、資金に余裕があるなら、ポジションを維持し風雨の通過を待つ方法が一番。右図はPSE総合指数の週足。これで見ると、最大7290ペソまでの下げを見なければならぬ。5/10比の値幅で452ペソ、率ならおよそ23%となる。
- この値下がリリスクを回避する方法を次に開設する。

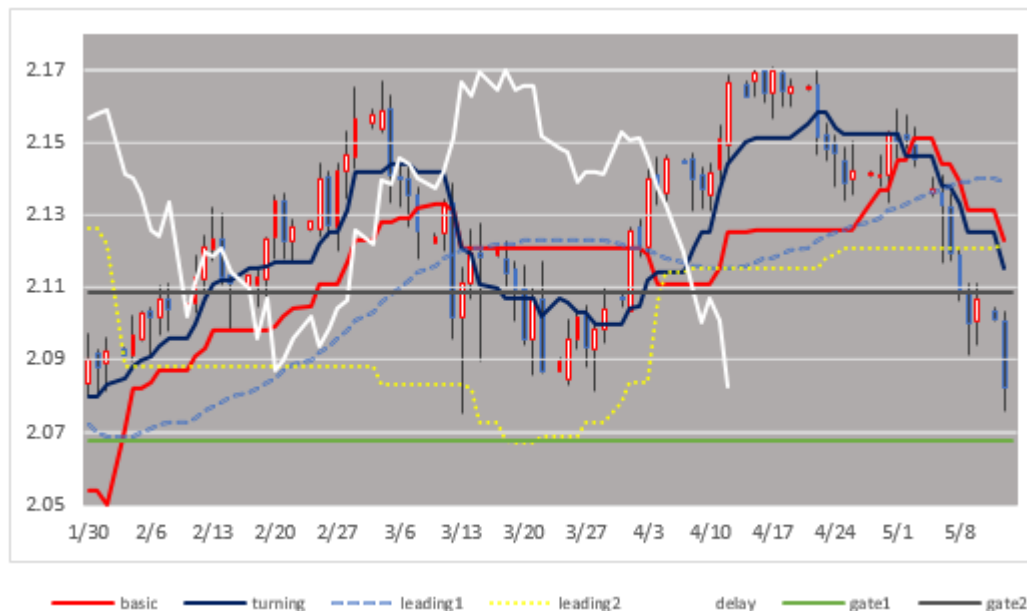


リスク回避法1ーポジション解消+α

●もっともシンプルな値下がりリスク回避法だ。27%の値下がりリスクがあるということは現在の資産価値が27%吹き飛んでしまうということだ。これに耐えられないなら、現在のペソ建て保有資産をいったん売却し、米ドルか日本円に換えておくべきだ。この方法で注意すべきは保有する通貨だ。

●下の画像はPHP/JPYの日足。貿易協議の雲行きが怪しくなり始めた4月中旬からペソ安円高が進行している。これは投資家がリスク回避のためにエキゾチック通貨からメジャー通貨への乗り換えが激しくなったための現象だ。

●当然、解決のめどがつかまでは、この傾向が続くと思われる。そのため、資産の売却だけではリスクのすべてを回避できない。ペソ資産を米ドル、あるいは日本円に換えておいた方が、ショックは和らぐ。米ドルなら逆に為替の値上がり益も期待できるだろう。



リスク回避法2ーポジション維持+資産追加

●ペソ資産を維持するメリットもある。冒頭に述べたように、フィリピン市場はいち早く回復に転じる可能性があるからだ。2、3か月もすれば相場は沈静化するので、それまで我慢する。だが、単に戻りを待つのではなく、積極的な忍耐戦略を獲る。

●現在の資産はそのままに、値下がりを待って同じ資産を同じロット数だけ、仕込むのである。指数で23%下げの可能性を見たが、これを頼りに、現在値より20%下がったところを目途に買い付けるわけだ。これにより、購入コストは10%下がり、保有株数は2倍になる。現在価格に戻れば18%資産が殖える計算になる。

●右の表は主要30銘柄の現在値の75%水準。厳密には個別で見る必要がある。

会社名	シンボル	現在値	目標値	1LOT
Aboitiz Equity	AEV	48.6	36.5	100
Aboitiz Power	AP	35.2	26.4	100
Alliance Global	AGI	13.6	10.2	100
Ayala	AC	890	667.5	10
Ayala Land	ALI	47	35.3	100
Bank of the Philippine Islands	BPI	84.8	63.6	100
BDO Unibank	BDO	135.8	101.9	10
DMCI	DMC	10.38	7.8	100
Puregold Price Club	PGOLD	44.4	33.3	10
Robinsons Retail	RRHI	72.5	54.4	10
First Gen	FGEN	20.8	15.6	100
Globe Telecom	GLO	1995	1496.3	5
GT Capital	GTCAP	850	637.5	10
International Container	ICT	133	99.8	100
JG Summit	JGS	61.5	46.1	100
Jollibee Foods	JFC	302.8	227.1	10
LT Group	LTG	16.92	12.7	100
Manila Electric	MER	371.2	278.4	10
Megaworld	MEG	5.33	4	1000
Metro Pacific Inv	MPI	4.29	3.2	1000
Metropolitan Bank	MBT	72.5	54.4	100
Bloomberry Resorts Corporation	BLOOM	10.9	8.2	100
PLDT	TEL	1240	930	5
Robinsons Land	RLC	23.8	17.9	100
San Miguel	SMC	190	142.5	10
Security Bank	SECB	171.9	128.9	10
Semirara Mining	SCC	21.7	16.3	100
SM Investments	SM	925	693.8	10
SM Prime	SMPH	38.5	28.9	100
Universal Robina	URC	160	120	10

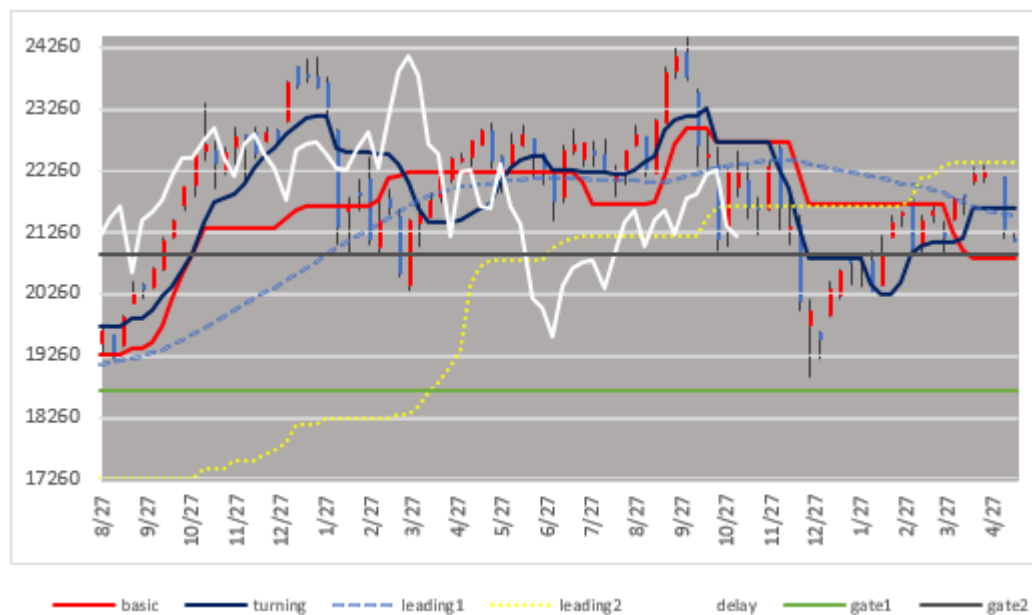
リスク回避法3ーポジション維持+CFD売り

●3つ目のリスク回避法は、原資産のロス分をほかの売買益で補うという代替戦法。わかりやすいのがNYのダウやS&P500、あるいは日経平均などのCFDを売り建てる方法だ。

●下の画像は5/14 10:00現在、日経平均は前日終値比で300円以上下げた。前日のNYダウが600円以上下げた影響をもろにかぶったためだ。このように当然下がるという局面なら売り建てで十分に採算が取れる。PSE総合のCFDがないため、ここでは先進国指数を使う。

●この方法が良いのは、CFD取引はレバレッジが効いているので、少ない資金でキャピタルゲインを狙える点。レバレッジは業者や原資産によってことなるので、投資を行う資産のレバレッジを確認、最大含み損を得るための売買数を計算し、売り建てる。

●日経平均の場合、下値メドは18900円前後。現在値比で1100円前後。これから必要な枚数を計算すればよい。

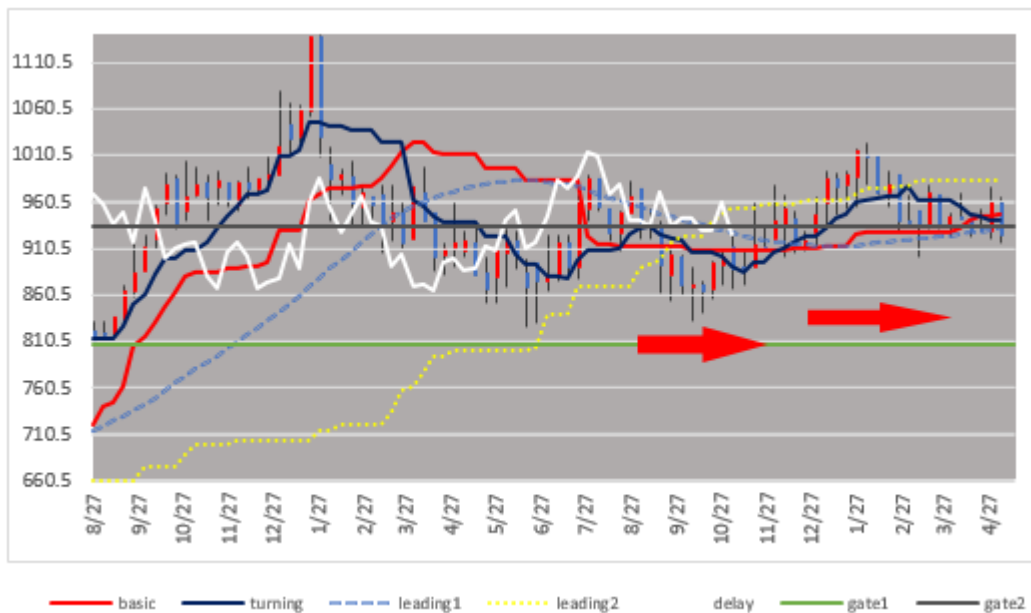


リスク回避法4ーポジション決済+再購入

●4つ目の回避法はシンプルそのもの。現在の資産を一度決済し、その後しばらくして再度、同じ銘柄を同じロットだけ買おうというものだ。次に購入するまで手持ちはないので、ロスが発生しない(厳密にはペソ資産があれば為替変動がリスクになる)。ただ、この方法の難しいのは、どこで買うかという判断だ。

●今回のような緊急事態の発生で相場が大きく動いたときには、下げも予想以上に大きくなる可能性がある。

●そのため、下値めども現在値に比べかなり下の水準を見る必要がある。右は時価総額トップのSMの週足。下値メドを直近の安値(上の矢印)と過去の上昇幅の3分の1水準(下の矢印)とした。このように過去の高値や安値を参考にして下値のめどを導き、その水準に近づいたときに買いを入れる。これで現行水準まで戻れば、下げ分が利益になる。



緊急レポートについて

今回は米中の関税報復引き上げを見て、相場が大きく動く可能性があったため、緊急レポートして、リスク回避法を解説しました。

今後も緊急事態が発生した時には随時、レポートを組みますので、ご期待ください。

常に、投資家の方を考えるフィリピン株.com編集部一同